第149号

発行所
新潟県中魚沼郡
中里村公民館

毎月1回15日
定価 1部 5円

なかさと

私たちの村

人口	8,029
男	3,964
女	4,065
世帯数	1,714

10月 1日現在

写真は去る9月27日に行なわれた村議会のようす

―第三回定例村議会―
教育委員 選挙管理委員 を選任
第二回補正予算3千58万2千円

第三回定例村議会は、去る九月二十七日招集され、会期一日の日程で一般会計、特別会計、補正予算、教育委員、選挙管理委員会委員の選任、請願陳情などを慎重に審議し、午後七時過ぎ散会した。なお付議されたおもな事件は、次のとおりである。

◇補正予算関係

一般会計補正予算については村長の専決処分について議会の承認を求め、それぞれ提案どおり議決されたが、この主な内容は、▽総務費三百二十一万七千円（庁用器具類三百七十八万四千円ほか、徴税費八十七万四千円、選挙費十二万円、統計調査費五万円）▽民生費四十三万八千円（社会福祉費三十万三千円、児童福祉費十三万五千円）▽衛生費百九十二万二千円（患者輸送車購入費百五十万円ほか）▽農林水産事業費三十五万九千円、減額組替（農業費六十三万九千円組替、林業費二十八万円）▽商工費三十五万八千円（商工会補助ほか）▽土木費千四百七十八万六千円（除雪車借上料百五万円、村道工事請負費九百五十一万円、用地買収費六十二万円、村道倉下、土倉線陸沢川橋架設工事、村道芋沢山崎線七川橋架換工事費四百八十万円ほか）▽消防費二百五十七万円（ジープ型自動車ポンプ一台二百十五万円ほか）▽教育費七百八十万円（教員住宅費四十一万三千円、小学校費二百七十六万円、中学校費二百七十八万円、社会教育費十七万八千円ほか）▽災害復旧費千三百二十八万四千円減額組替（農林水産施設災害復旧事業費三百三十二万円減額組替、公共土木災害復旧費三万七千円）▽公債費（七百八十八万二千円）予備費（五百四十五万二千円）

◇人事関係

教育委員会の委員の選任については、去る八月三十一日づけで教育委員を辞した藤田五郎氏の欠員と、九月三十日付で任期満了によるなら村山軍英氏のかわりに十月一日付で関根隆光氏（田沢本村）保坂勇二氏（芋沢）を任命、また選挙管理委員会の委員任期満了にともない、十月一日付で樋口秀夫（小原）山田一平（宮中）上原武（山崎）岡村佐七（倉俣）の各氏を選任した。

◇請願陳情

◎陳情者、小出区長山本武常ほか十名、村道倉俣、富地、小出線整備について―採択

◎陳情者、程島区長南重昭、中里村程島地区県道より川原耕地に通ずる農道新設工事費の助成について―採択

統計調査員任用
候補者の募集について

新潟県統計調査員任用候補者登録制度の実施にあたり、統計調査員任用候補者の募集を次により行ないます。

一、募集対象
中里村内居住者

二、募集人員
約五名

三、応募資格
次の一から四までの該当者

①年令十八才以上のもの

②禁こ以上の刑に処せられたことのないもの

③警察官及び税務に従事する公務員でないもの

④調査所、秘密探偵社等に勤務していないもの。

四、応募の方法
新潟県統計調査員任用候補者登録申請書の提出による。

新潟県統計調査員任用候補者登録制度は知事が任命する。

統計調査員の職務を円滑にすることにより、国および県が行なう統計調査の適確な実施をはかることを目的とし、登録の有効期間は、登録の日から二年とする。

たゞし、任用候補者の希望によって更新することが出来ます。

日頃統計に興味、関心をお持ちで調査員をやってみたいという方、又この登録制度の詳細を知りたい方は、役場の行政課の方へお問合せ下さい。

―教育委員長―
就任のごあいさつ

九月三十日任期満了による教育委員の人事があり、去る十月七日、教育委員会において互選により、不肖、私が委員長に選ばれました。もとより浅学非才の身でございまして、手腕力量共に拔群でありました藤田前委員長の後任として、先ずその職責の重大性を痛感する次第でございます。

私も教育委員としてすでに十余年の間、微力ながら村の教育行政にたずさわってまいりましたが幾多行なわれてまいりました。これというのも、村当局、並びに村議会の方々の御理解と村民各位の御協力に俟つところが多かったと思います。今後更に村教育進展のため、及ばずながら今までの経験を生かし、委員会議の上、一生懸命努力いたしてまいりたいと思いますので先輩の方々の御指導及び、村民の皆様の御協力をおねがい申し上げ、御挨拶といたします。

拘束からの自由

斉藤大馨

自由を求めて、人間は常に拘束されている。自由・自由といって自由にこだわると、逆に自由から拘束される。拘束の拘ばとらわれる。つながれるの意味で、束はくくる、まとめてしばることである。

最近よく出合うことでありあちこちで見受けるのであるが大きなシェパードを散歩させている人がある。飼主と犬とは太い一本のロープで結ばれている。シェパードは、ものすごい勢いで、香いをかぎながら飼主を、ぐんぐん引張ってゆく。見ていると、今にも転びそうで、ハラハラさせられる。犬を散歩させているのか、犬にさせられているのか、その辺のところが、どうもハッキリしない。「拘束八時間労働」を七時間労働にせよという。拘束しているのは使用者のようでもあるが、案外勤務する側にあるように思われる。ビート族が時速八十キのスピードで、矢のように都大路を飛んでゆく。本人は自由にスリルを楽しんでいるようだが、時速に拘束されておりはしないか。

オートメーションでコーヒー茶わんの耳つけが一日六千個とれがノルマだという。人間は機械を発明したが、機械が人間の座にとってかわり、人間をアゴでコキ使っている。

ゆりかごから墓場までの月賦購売時代である。月賦、月賦に追いまくられて、息切れがしそうである。ここにも月賦に拘束されて、身動きもできない。

老人もブラブラしていてはもったいないと、金もうけに忙しい。昔の年寄は家督をせがれにゆずると、さっさと引退して遊んでいた。それでいて孫のお守りはもちろん、一家のつけものの重しとして、十二分に真髄を発揮していた。これでこそ、ほんとうに自由を楽しむといえる。

現代の世相をマン画にすると巨大な物量生産の下敷きになって、人間が悲鳴をあげている。自由どころのはなしではない自由とは、いったいどういうことなのか。何ものにも拘束されない心境である。それにはまず大死一番「この一関」を通らないと融通無碍（ゆうずうむげ）の絶対無の世界には出られない念仏門でいうならば煩悩具足の凡夫で、一切の時仏に捨てられた、機の当体であると深く信じる。そういう悪人こそ、正客であるとの法の深信とが一体となり、一声の念仏によって、光雲のように欠虚空のようにさえぎるもののない自由となれる。

禅門でいうなら「ヤミの夜になかぬからすの声聞けば、生まれるさきの父母を恋しき」を、体解することである。父母未生以前の父母に対面したら、この身このまま仏になる。因果一如の門はひらけ三昧無得、大空が自分のものになる。いや自分のものになるという意識すらない。一度徹底的に死なないと、こういう何ものにもさえぎられない、三昧無得のの心境は得られない。観念の念では一応いけるが如案修行がないと、身についてこない。私ともはライフ・ワーク（生涯の仕事）として、これを目ざしたい。

大死一番すると、世俗の一切が切れてくる。といっても枯木寒厳によって、山頭殺気なしの石あたまではかろう。美しい女性を見れば、やはり気をひかれる。人なみに金もほしい。庭石もほしい。孤児を見れば胸がつまる。そういう悪人こそ、正客であるとの法の深信とが一体となり、一声の念仏によって、光雲のように欠虚空のようにさえぎるもののない自由となれる。

禅門でいうなら「ヤミの夜になかぬからすの声聞けば、生まれるさきの父母を恋しき」を、体解することである。父母未生以前の父母に対面したら、この身このまま仏になる。因果一如の門はひらけ三昧無得、大空が自分のものになる。いや自分のものになるという意識すらない。一度徹底的に死なないと、こういう何ものにもさえぎられない、三昧無得のの心境は得られない。観念の念では一応いけるが如案修行がないと、身についてこない。私ともはライフ・ワーク（生涯の仕事）として、

文化祭作品募集
あわせて錦鯉品評会も

日増しに秋も深まり、まわりの山々もうっすらと黄色味をおび、美しい季節になってきました。

秋はお互いに忙がしく、ひまのない生活ですが、美しさや楽しさを生活にとり入れ、心の豊かさ、心のゆとりをもちたいものです。

公民館では、十一月三日「文化の日」の恒例中里村文化祭の作品を次のとおり募集しておりますので、ふるってご応募下さい。

①美術展

▽書道＝中学生、一般の部、書体、半紙、条幅いづれも自由。

▽絵画＝中学生、一般の部、題材自由、大きさ四ツ切以上。

②写真展＝一般に限る。題自由、大きさ四ツ切以上。

③生花展＝流派いづれでもよい

④短歌・俳句展＝一般・中学生の部。

▽応募期限＝十月三十日まで。（但し生花出品者は、十一月二日午後会場に展示する）

▽出品先＝中里村公民館、作品には、住所、氏名等を明記して下さい。

▽その他＝出品者には、記念品を贈呈します。

なお、錦鯉の品評会もあわせておこなうべく計画もしております。

11月1日～10日まで
納税者の声を聞く旬間

十日町税務署では十一月一日から十日までの十日間を納税者の声を聞く旬間として「納税者の声を聞く会」税のアンケート署内見学、税務相談、通信（手紙）相談、署長の納税者訪問、等の行事を予定している。

この旬間は全国的に行なわれるもので、納税者から意見や要望を求め税務行政の施策や運営面に反映させることと、あわせて納税者との意思の疎通を図り「近づきやすい税務署」の一層の推進を図ることにしている。

税務署ではこの機会に多数の納税者からの意見、要望、相談等がよせられることを、望んでいる。

人生往来

◎誕生

子の名	父の名	部落名
山田幸蔵	貫蔵	東田尻
山田和美	秀男	清田山
大島明子	繁太郎	芋沢
島田道雄	英男	倉俣
鈴木二三子	昭一	富地
樋口ひろみ	芳一	荒屋
岡村美佳	敏夫	倉俣
関広幸	利次	宮中
樋口いずみ	宏	宮中
根津利矢	博	芋川
桑原恵重	治	田沢

◎結婚

氏名	年令	部落名
井ノ川敬造	(八才)	如来寺
山本直孝	(十才)	薬沢
中島良助	(二才)	本屋敷
吉梁寛	(四才)	宮中
村山啓	(十才)	宮中
樋口ツジ	(八才)	宮中
竹藤イソ	(十四才)	芋川
山田ミユ	(六才)	上山
井ノ川キウ	(六才)	如来寺
山田ナミ	(八才)	宮中
樋口徹	静	白羽毛
村山一男	治	宮中

◎高砂

（新郎 村山利雄（三四）津南町
（新婦 山本佳世子（三三）山崎

◎男天

氏名	年令	部落名
樋口徹	静	白羽毛
村山一男	治	宮中

なかさと文芸
―十月投句―

梅人

税の相談日のおしらせ

毎月五日、十五日、二十五日は税の相談日です。土地家屋の譲渡、相続、贈与等の問題、青色申告の手続など国税のことなんでも相談できます。

相談料は無料で匿名も結構です。税務署の相談室でご相談をお受けします。

税金

献血の時ちくみ耐ゆ秋ざくら　由記

野菊摘み通りすがりの塚に活け　おの江

一本の針を生命の指へ月　キミ

鎌入れて稲の聖に心満つ　涼子

母の聖買いに出て凍う貧農眼　大泉

一握の日を溜め峡は重の秋　柿蔵

竹を切るうす紅葉の日暮かな　キクノ

天に浮く稲架上る天や月明り　栄山

菊百種咲かせ百年記念とす　加寿子

若妻の車上に子等居て秋暮るゝ　ミチ

残虫の遠う屋根焚きにぶり

病弱児に一日も早く光を

（一）新潟県立柏崎養護学校は国立新潟療養所に併設されてあって、長期療養を必要とする疾病をもつ在学中の児童生徒に対して、病気を治療しながら学習を進める学校であります。

従って入院と同時に養護学校に入学することになります。現在十三学級編成で職員十九名で運営されています。

（二）入院対象児童生徒は、①結核症児～満五才より十八才未満の者で学校在籍の者、特に初期結核で家庭療養をつづけている者については該当児童全員の入院を目標としています。②慢性非結核疾患児～慢性疾患（小児喘息、気管支拡張症、ネフローゼ、腎盂腎炎等、その他）のため三ヵ月以上欠席して医療や生活矯正を受けなければならない者。但し心臓疾患を除く。③筋ジストロフィ症児～児童相談所とご相談下さい。

（三）経費について

①結核児

（ア）児童福祉法に規定する療育制度が適用されます。

◎療育に必要な品物が次の区分によって支給されます（月当）

◎学用品―小学生三百円、中学生五百円。

◎日用品～入所期間六ヵ月までの給付額二千円、七ヵ月～十二ヵ月千五百円、一年以上千円。

（イ）命令入所～医療費は無料ですが、物品給付はありません

③慢性非結核症病児

（ア）本年度より実施された県単独の療育制度が適用されます。

◎療育に必要な品物が結核と同程度支給される見込み。

③筋ジストロフィ症児

近く国の療育制度が適用される見込みです。

（四）保護者の指導についてお願い

①結核で家庭療養をつづけながら普通の学校へ通うような不徹底な治療は絶対に避けるようご指導下さい。いゝかげんな治療で止めておくと悪化期に入ってから再発する可能性があります特に初期のうちに徹底した治療を受けるようご指導下さい。

②子どもが、かわいそうだったら手離したくないという親の気持をよく～反省させて下さい。

◎子どもが、かわいそうだから早く病気を治してやることですそれには病院と学校がそろっている施設へ入れることが最も賢明な方法です。さびしがるのは親だけです。

③子どもは親の許に居るよりもすっとおとなになります。またお金もかゝりません。

◇連絡問合わせ

詳しいことは柏崎市赤坂町、県立柏崎養護学校（電話柏崎二二六内線二七）または国立新潟療養所医事係へご連絡ください。ご要請があればいつでも職員が出向きます。

毎月第三日曜日は「家庭の日」

村商工会、家庭の日サービスに協力

「家庭の日」の普及、認識を高めるために中里村商工会の個協力を頂き、去る八月十八日の第三日曜日から毎月「家庭の日」にはサービスチケット券（二円券）を二倍サービス致すことになりました。豊栄町で小学生を対象に行なった「家庭の日」についての調査でも、大部分の子どもが「もっと家庭のだんらん、親子の対話」を望んでいるということが報じられておりました。そこで大げさでなくともこの結構です。きょうは「家庭の日」だから夕食にはいつもより副食を一品多くするとか、夕食後家族そろって季節のものを食べながらだんらんの場とするのもよいでしょう。おじいさんおばあさんから昔話を聞かせてもらい、若い頃の苦労や、伝統、習慣についても関心をよせることもよいでしょう。

中里村青少年問題協議会

農業と私

高等学校分校 日町沢 十田 子智美 口樋

私の家は耕地面積二・四ヶあまりの田畑を営む農家です。農家に生れた私は長男が小さく又中学校在学中は父が年寄りのため学校から帰るとすぐ家の手伝いをしなければなりませんでした。

このようなことから両親の希望する働きながら学ぶ定時制高校に入学したのです。入学した当時は農業が好きだったわけではありません。むしろ嫌いと言った方がよいのかも知れませんでした。一時はこんなことでよいのだろうか。学校をやめて都会に出て行こうか。こんな所で少しの田畑を相手に農業をやっていても少しもおもしろいことがない。それより会社に勤めたほうが自分のためになるとも思いました。

しかし学校で自分のことのように考えてくれる友を得、家庭で父姉そして私の三人で農業に従事している間に、いつしかそんな考えもなくなり、農業と言うものに対する愛着を感ずるようになりました。

そして肥料、害虫、品種、品質といろんな問題に取りくんだ私は「自分で一生懸命やったのなら一度や二度失敗してもいい」と言う満足感を得ることが出来たのです。この時こそ、農業と言うものに対するおもしろさがわかったのです。

姉がとついでからは、私の家の農業というものに少しながらも私の意見が取り入れられるようになり責任も重くなったのです。ちょっとしたひまに、父が購読している現代農業と言う本を見、少しづつではあるが真剣に考えるようになりました。

そんな私を見て父は「あゝやっと農業をやる気になったんだな」と言って喜こんでくれました。

ある日父は「苗代にうつした苗がところどころ枯れたが、どうしたんだろうな」と私に聞きましたが、未熟で考える力のない私には何もわかりませんでした。近所の人に聞いたり、父の本を何冊もひっくり返してやっと解答を得ました。

女であるが故に出来ないこともたくさんありました。ある時は腰の痛さに堪えながら、泣きながらも大人の人について行こうとした田植え、又手にいくつもの豆をつくりながらも取った草取り、そんな苦しみの中からこれまでにして働かなくとも、もっと合理的に出来ないものかとも考えました。

そして大きな喜こびは、前の年よりも二俵以上も多く収穫があった。このことは、田植えの時期を早めたことにより冷たい水に稲が耐えたのだと思われます。

父と私の稲に対する愛着、少しながらも前進しようとして勉強したのが、大きな原因だったと思います。父に「今年は豊作だったし、お前もよく働いてくれたから好きなものを買ってあげなければいけないな」と言われた時は、本当にうれしかったいままで学んだことは、少しではあったが、作物を作り、それがりっぱに実を結んだ時、そして失敗し同じ失敗を二度としないようにと、取り組んだとき心から一生懸命やればどんな仕事でもできる。そして「私でも出来る」という自信、これは私にとって最大の収穫でした。

これからの私の生活にはより多くの困難がまっているかもしれません。しかしその困難をのりこえて行くだけの体力と希望をもち、また現在までの体験を生かして、農業にはげんで行きたいと思います。

赤い羽根共同募金

今年で二十二年目を迎えた赤い羽根共同募金は県共同募金会の割当（中里村目標額）二十二万九千百円に対し、二十七万百三十五円（目標額に対して百十七・九一％）の募金をいただきましたので、九月四日郡共同募金会に委託致しました。

ご協力いただきました募金は県広域に設置されている民間社会福祉団体の活動費、研究費等に使用されます。また中里村においては、身体障害者福祉、母子福祉、長期療養患者の見舞、各部落遊具設置等巾広い地域福祉のために使用させていただきます。

なお十月一日より一ヵ月間越後田沢駅に無人箱を設置し共同募金の趣旨をご理解いたゞき、自発的な募金をお願いすると共に皆様方の多大なるご協力をお願い致します。

体育の日に

青年会で排球大会

田沢中体育館で

去る十月十日、田沢中学校体育館において中里村青年会主催のもとに、九チーム（貝野二チーム倉俣二チーム、芋沢、本村チーム、如来寺、田中、上山チーム荒屋、通り山チーム、小原、干溝、桂チーム、清津峡チーム）百余名参加して排球大会がおこなわれた。

この大会は、村内各地区の青年がより一層相互の親睦を、昨年から行なわれてきた学校開放における成果を競い合うというものである。

当日は、村長杯野球大会も行なわれる予定だったが、朝からの雨で残念ながら中止となったため一層排球大会に盛りあがりを見せた。

午前十時、青年会長の挨拶にはじまり、大島康太郎君の力づよい宣誓によって熱戦の火ぶたがきっておとされた。どのチームも日頃の練習の成果を、今ぞここにノと大いにハッスルし、体育の日にふさわしい一日だった。

なお、一位から三位までの各チームは次のとおりである。

一位　芋沢チーム
二位　貝野Aチーム
三位　通り山、荒屋チーム
如来寺、田中、上山チーム

写真はポイントをとりつつ、とられつの接戦の1コマ

国際人権年記念標語募集

今年は「世界人権宣言」が国際連合で採択されてから二十周年にあたります。そこで国連加盟国でありますわが国でも特に人権尊重の普及高揚を図るためいろいろな記念行事や活動をしています。基本的人権は人間であればだれでも持っておりますから、私達はお互いが相手の人権を尊重しなくてはなりません。

しかしまだ人権を侵されたり侵したりした問題が沢山発生しています。人権を尊重し合う気持が国民一人一人の心の中に深く浸みわたり住みよい社会が実現されるような標語……という趣旨で「国際人権年記念標語」を募集しています。

◇優秀標語の方には、賞状のほか記念品を呈します。

◇送り先

長岡市柏町二丁目五十一番地
新潟地方法務局長岡支局内
長岡人権擁護委員協議会

自動車税期限内納入を

十日町財務事務所

◇県税

みなさまの県税に対する日頃のご協力を深く感謝申し上げます。

【自動車税】

▽第二期の納期限……十月三十一日

◎納税通知書は十月十七日頃お手許に届く予定します。

◎月末は収納機関が、こみあうことを予想されますのでお早目に、もよりの銀行、郵便局又は財務事務所窓口で納付して下さい。

◎自動車の移転、抹消、廃車等の手続きを要するものは早目に手続きをしましょう。手続きが遅れますと納税者が不利益となることがあります。

◎納税貯蓄組合に加入し、一括納税にご協力をお願いします。

◇〆切り　昭和四十三年十一月末日

清水の味

樋口信治

＼＼清水の味／／

清津峡の長岡から中里まで猛スピードで来て呉れたということに、両親は勿論のこと一同感激したことは云うまでもない。

彼女がまだ高校生だった頃、両親に伴われてK家を訪れて来たことがある。（Kはこの頃から既に出張ぎ先の社長に見込まれ、娘である彼女と将来を誓いあっていたのであろう……）

最近Kは千葉の柏市から妻を迎えた。彼女の実家は柏市でも指折りの建築業者であり、しかも彼女が、非常に若く美人ときいているからKは果報者である。

近頃、農家の長男の嫁がなく困っている現状であるが、都会の若い娘が雪国にはるゞ嫁して来て呉れたということに、両親は勿論のこと一同感激したことは云うまでもない。

彼女がまだ高校生だった頃、両親に伴われてK家を訪れて来たことがある。（Kはこの頃から既に出張ぎ先の社長に見込まれ、娘である彼女と将来を誓いあっていたのであろう……）

Kは何もない田舎のことと指折りの建築業者であり、しかも彼女が、非常に若く美人ときいているからKは果報者である。

近頃、農家の長男の嫁がなく困っている現状であるが、都会の若い娘が雪国にはるゞ嫁して来て呉れたということに、両親は勿論のこと一同感激したことは云うまでもない。

この彼女がまだ高校生だった頃、昨年千葉で胃の手術をした。医師から食物は勿論水を飲むことも禁じられた。彼女の実家は柏市でも所へ伴い、これサービスに努めた。更に県養蚕場へと案内する際、彼女の父は、通り山部落の横道の坂に湧き出ている清水を見つけ、これを口にしたとき、非常に冷たく美味かったので強く印象づけられたという。

この彼が、昨年千葉で胃の手術をした。医師から食物は勿論水を飲むことも禁じられた。彼女は唇が乾くので、付添いの目をぬすんでは側にあった花瓶の水に指を突込んで唇をぬらしていたが、あおくさくて困ったという。

彼は高熱にうなされて、そしてひどく水を飲みたがった。

「中里の水を汲んで来い」

と運転手に命じた。運転手は社長の一大事とばかり、トラックに一斗樽をいくつも積んで、千葉から中里まで猛スピードで来て呉れたということに、両親は勿論のこと一同感激したことは云うまでもない。

この彼が、昨年千葉で胃の手術をした。医師から食物は勿論水を飲むことも禁じられた。彼女は唇が乾くので、付添いの目をぬすんでは側にあった花瓶の水に指を突込んで唇をぬらしていたが、あおくさくて困ったという。

彼は高熱にうなされて、そしてひどく水を飲みたがった。

「中里の水を汲んで来い」

と運転手に命じた。運転手は社長の一大事とばかり、トラックに一斗樽をいくつも積んで、千葉から中里まで猛スピードで来て呉れたということに、両親は勿論のこと一同感激したことは云うまでもない。

この時程中里の水が恋しかったことはないという。

今年になって、最近彼は奥さんと同伴でK家にやって来た。初孫のおめでたが近くあると云うので喜びをかくしきれず触けつけたのであるが、わずかな暇を見つけて例を通り山の清水に自動車をとばし、存分に飲み、更に魔法瓶にまでつめた。お土産に千葉へ持って帰るつもりであった。だが彼は、来る途中、

「K家の妻も亦きれいな小川が好きで、今日も亦、家の側を流れる清水に足を入れ、めずらしそうに飽きず眺めていることだろう。」

Kの妻も亦きれいな小川が好きで、今日も亦、家の側を流れる清水に足を入れ、めずらしそうに飽きず眺めていることだろう。

これも亦全部飲んでしまったのである。

訂正

本紙九月号一面、藤田五郎氏の「辞職のことば」文中「新潟県市町村教育委員連絡協議会々長として」とあるは、「新潟県市町村教育委員連合会の、代議員、理事、監事を歴任し、又都市教育委員連絡協議会々長として」の誤りですので訂正します。